

機関番号：74331

研究種目：若手研究A

研究期間：2009～2010

課題番号：20681025

研究課題名（和文） 人口構成の変化と介護労働の国際移動に関する研究

研究課題名（英文） Demographic Change and International Movement of Persons

研究代表者

安里和晃（ASATO WAKO）

財団法人世界人権問題研究センター・研究第4部・嘱託研究員

研究者番号：00465957

研究成果の概要（和文）：本研究では高齢化・少子化の進展によりケア従事者の不足が拡大していること、そのために人の国際移動が加速されていることが明らかになった。日本においては高齢化による進展とケアの需要増大が人の移動に直結しているとは捉えられていない。しかし、実際には定住者によりケアの国際化は進展している。また日本では経済連携協定による受け入れが開始されているが、他国では労働のみに着目した労働協約などにより受け入れが一般的である。

送り出し国においては外貨獲得源に占める労働者の送金の割合が増大しており、経済政策の中心をなす政策となりつつある。つまり、送出し政策は途上国において一般化しつつあり、先進諸国における高齢化もあって、ケアは途上国が期待する送り出し部門となっている。しかし、人口構成の変化はアジア諸国において他の世界の諸地域よりも急速であり、途上国の送り出し政策は、長期的には見直しを迫られる可能性がある。とはいえ、経済格差や先進国におけるケアの需要増大を考えると、人の移動の加速を止めることは困難であり、多国間の協調体制の構築が必要となる。そのさい、移民政策だけではなく、送り出し国における教育や医療、地域開発の視点における協働が必要であろう。

また、結婚移民が日本、韓国、台湾で増加、あるいはすでにピークを越え一定の数に上っているが、結婚移民は当初農村部における老親ケアに従事していることも多く、高齢者や障害者ケアに従事している者も多い。また、台湾や日本においては施設介護が社会統合政策の対象になっていることもある。したがって、ケアが人の国際移動に大きな影響を及ぼし、人の国際移動がケアに統合されるといった側面がみられる。

研究成果の概要（英文）：This study has clarified that deficit of care provider is expanded due to demographic change. In Japan, because of the abundant potential care provider, deficit of care is denied. However, foreign residents often work as careworkers and internationalization of carework has been made progress. Japan has been receiving careworkers under Economic Partnership Agreement while other Asian major countries under bilateral labor agreements.

Sending policies are getting mainstreamed in recent years because remittance has become a stable source of foreign currency. However, sending policies might not be sustainable considering demographic change of sending countries. To prevent from further health human resource exploitation, multilateral collaboration and coordination would be required in the long run.

Marriage migration is another aspect of care migration in that quite a large number of marriage migrants, particularly Japan, Korea and Taiwan take the role of care provider at home and at institution. In the social integration policy, marriage migrants are one of the target groups of job retraining to be a careworker in institutions. Therefore, not only labor migrants but also foreign residents are integrated in the care labor market to compensate for the widening care labor market in developed countries.

交付決定額

(金額単位：円)

|        | 直接経費      | 間接経費      | 合計         |
|--------|-----------|-----------|------------|
| 2008年度 | 3,600,000 | 1,080,000 | 4,680,000  |
| 2009年度 | 2,800,000 | 840,000   | 3,640,000  |
| 2010年度 | 2,400,000 | 720,000   | 3,120,000  |
| 年度     |           |           |            |
| 年度     |           |           |            |
| 総計     | 8,800,000 | 2,640,000 | 11,440,000 |

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：ジェンダー・ジェンダー

キーワード：人の国際移動、人口構成の変化、少子高齢化、経済連携協定、看護、介護、資格の相互認証、ケアの不足

1. 研究開始当初の背景

本研究は1.看護・介護・家事労働の国際移動、2.結婚移民、3.送り出し国の政策比較の3つの柱から構成されている。1. 看護・介護の国際移動については日本におけるインドネシア・フィリピンからの受け入れに特に着目して送り出し・受け入れ国双方から研究を行った。このテーマは社会的要請が強く、研究者の立場からシンポジウムの企画・実施、論文の執筆、新聞・テレビなどの取材に応じた。2. については特に台湾に着目して結婚移民が家事・介護労働者の雇用とともに家族ケアを確保する手段であるとの認識から、残余的福祉国家における「家族化」政策の一環として把握した。結果は論文などに執筆した。3. の送り出し国の政策比較についてはタイ、インドネシア、フィリピンそれぞれにおける現地調査を実施した。特にタイについては医療従事者の海外出稼ぎ奨励よりも、むしろ医療ツーリズムを通じて海外から患者をよびこむ政策を実施している。インドネシア、フィリピンについては外貨獲得策という政策目標を移動の自由、職業選択の自由を根拠として移住労働を奨励していること、フィリピンについては看護師・ケアギバーの供給過剰という背景が存在し、インドネシアについては今後都市部において看護師の供給過剰が予想されることから、「看護の国際化基準」といった制度整備を急いでいる。

2. 研究の目的

ケアギャップについて人の国際移動の諸相から明らかにすることを目的としている。明らかにするのは、看護・介護・家事労働に関する国際移動、結婚移民といった直接的にはケアと関連しない人の国際移動、さらには定住外国人といった側面を取り上げるものである。

3. 研究の方法

主に、半構造化手法を用いたステークホルダー分析である。まず、制度面を明らかにすること、続いて聞き取りなどを中心として実態面を明らかにすること。制度と実態がどのようにかい離しており、なぜかい離が生じるのかを明らかにするといったプロセスをとる。

4. 研究成果

このテーマは社会的要請が高く、その後厚生労働省科学研究費をはじめとする複数の研究補助を受けることになり、国際共同研究も開始することになった。マスコミからも多くの取材を受け、社会的関心の高いことが理解された。研究の知見に関しては論文、学会発表、講演などを通じて公表に努めてきた。学会発表はほとんど招聘講演で、それ以外にも多くの講演依頼があった。学会誌、書籍執筆の機会にも恵まれたが、課題としては国際研究などのオーガナイズなどの効率化といった点が挙げられる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計10件)

安里和晃 (2011) 「看護・介護部門における人材育成型受け入れの問題点 経済連携協定の事例から」『保健医療社会学論集』21-2, PP35-54.

Asato, Wako (2010) "Narrowing the Care Gap: Migrants at Home, Institutions and Marriage Migrants" *Journal of Intimate and Public Spheres*, 83-100.

安里和晃 「東アジアにおけるケアの「家族化政策」と外国人家事労働者」『福祉社会学研究』No.6、10-25.

安里和晃(2009) 「ケアの確保をめぐる引き起こされる国際移動——移動する人々は多様性の一部か——」『現代思想』91-105, 青土社。

安里和晃(2009) 「国際ケア労働市場の形成——制度的・構造的観点から」『ジェンダー史叢書第6巻 経済と消費社会』236-258。

安里和晃(2009) 「移民政策の国際比較：東アジアにおける送り出し・受け入れ政策」『外国人労働者問題をめぐる資料集 I』87-98。

安里和晃(2009) 「インドネシアの送り出し政策」『外国人労働者問題をめぐる資料集 I』134-154。

〔学会発表〕(計16件)

ASATO, Wako, "Healthcare Migration and Demographic Change in Asia", ADBI/OECD Roundtable on Labor Migration in Asia: recent trends and prospects in the post crisis context, Asian Development Bank Institute, Tokyo, Jan. 18-20, 2011.(招待講演)

安里和晃, 「介護の国際化と人材育成・社会統合：日本語教育の新たな役割」日本語教育学会, 2010年10月9日(招待講演)

Asato, Wako, "The New Government and the Movement of nurses/careworkers", international Symposium: Regime Shifts and Regional Implications, 2010年8月9日, フィリピン デラサール大学(招待講演)

Asato, Wako, "Change in Demography and International Movement of Persons: who cares in the future" 中山大学シンポジウム「東アジアにおける日本社会」2010年6月21日, 台湾中山大学(招待講演)

Asato, Wako, "Social sustainability in superaged demography: a case of Japan", International symposium on Constructing Successful Societies: Social Changes and Policy Innovations in Canada, Japan, and South Korea, 2010年10月4-5日, University of British Columbia. (招聘講演)

安里和晃, 「リスクか可能性か: 受け入れ枠組と二重労働市場の形成」第36回日本保健医療社会学会大会シンポ, 2010年5月11日, 山口県立大学。(招聘講演)

Asato Wako, "Japanese Experience in Elder Care: A Collaborative Research Report" Mansfield Conference, Methuselah's Challenge: Ageing in Asia and America, 2009年9月24日, University of Montana. (招聘講演)

Asato Wako, "Narrowing the gap: Migrants at home, institutions and marriage migrants in Taiwan", Conference on Transnational Mobilities for Care: State, Market and Family Dynamics in Asia,

2009年9月11日, National University of Singapore, (招聘講演)

安里和晃, 「介護のグローバル化と受け入れ体制に関する国際比較」日本語教育学会, 2009年6月13日, 愛知学院大学。(招聘講演)

〔図書〕(計10件)

安里和晃編著(2011)『労働鎖国ニッポンの崩壊』ダイヤモンド社, 352.

安里和晃(2011)「少子高齢社会における移民政策と日本語教育」田尻英三・大津由紀夫(編)『言語政策を問う!』PP199-210.

安里和晃(2010)「EPA 看護師候補者に関する労働条件と二重労働市場形成」五十嵐泰正編(著)『労働再審② 越境する労働と<移民>』PP79-113.

安里和晃(2009) 「国際ケア労働市場の形成——制度的・構造的観点から」『ジェンダー史叢書第6巻 経済と消費社会』236-258.

安里和晃(2009) 「外国からの人材受け入れの論点」『始動する外国人材による看護・介護——受け入れ国と送り出し国の対話』78-83.

安里和晃(2009) 「東アジアで就労する家事・介護労働者」奥島美夏編『日本のインドネシア人社会』270-288.

安里和晃(2008) 「先進国の介護労働者の現状」『世界の労働』9月号, 日本ILO協会, 12-20頁。

安里和晃(2008) 「第8章 諸外国における介護士の状況」金子勝, 結城康博編『知識・技能が身につく「実践 高齢者介護」第1巻 新介護保険制度の課題と問題点』ぎょうせい。

安里和晃・前川典子(2009)『始動する外国人材による看護・介護——受け入れ国と送り出し国の対話』笹川平和財団。

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

安里和晃 (ASATO WAKO)

財団法人世界人権問題研究センター・

研究第4部・嘱託研究員

研究者番号：00465957

### (2) 研究分担者

なし ( )

研究者番号：

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：